



2020年5月15日

## 『新型コロナウイルス感染症の患者さんに対して オンライン面会を開始しました』

### 【本研究のポイント】

- ・ 面会制限により長期間にわたり家族と会えない状況となる新型コロナウイルス感染症の患者さんが家族とオンラインで面会できるシステムを構築しました。
- ・ 今までに人工呼吸器管理を行った患者さん **3** 名に対して、呼吸器から離脱できた段階で家族の方とオンラインで面会を行って頂きました。
- ・ この面会について、患者さんや家族の方には大変好評で、とくに家族の方からは、「顔の表情や直接話をできたことで非常に安心した」とのご意見を頂くことができました。

### 【背景】

- ・ 新型コロナウイルス感染症にかかると、感染を拡大させないために隔離措置が取られ、身内の方との面会もできなくなります。患者さんが突然に入院をした場合、それ以降の治療期間は家族と会うことができなくなり、不安やストレスが増します。また、家族の方も病状に関する説明は電話のみとなり、大きな不安や心配が続いた状況になります。とくに人工呼吸器管理を必要とする新型コロナウイルス感染症では、症状の悪化による家族の不安は非常に大きいため、多くの方が面会を希望される状況がありました。

### 【成果】

- ・ 当センターでは、看護師の発案でビデオ電話などの通信システムをセキュリティに配慮しながら使い、患者さんと家族がオンラインで話すことができる環境を整備しました。
- ・ 今までに **3** 名の人工呼吸器管理を施行し、家族の同意が得られた患者さんに対して、人工呼吸器管理中あるいは人工呼吸器から離脱した時に、家族とオンライン面会を行って頂きました。
- ・ この面会を行った結果、患者本人からは、「大変感激した」、「家族と話ができることができ安心した」とのご意見を頂きました。また、家族の方からは、「顔の表情や直接話をできたことで非常に安心した」など、この面会について、大変好評な意見が多く寄せられました。



### 【今後の展開】

- ・ 集中治療を必要とする患者さんに対して、家族のサポートは非常に重要になります。今後は、人工呼吸器管理中でも鎮静を浅くした状態で、家族の方とコミュニケーションが図れると判断した早い段階で、このオンライン面会を行い、家族の不安を和らげることができる医療体制を築いていきたいと思えます。

#### お問い合わせ先

(内容について)

大阪府立中河内救命救急センター 所長

山村 仁 (やまむら ひとし)

**E-mail: [yamamura@nmcam.jp](mailto:yamamura@nmcam.jp)**

(報道について)

大阪府立中河内救命救急センター 事務室 広報担当 佐本

**TEL: 06-6785-6166 FAX: 06-6785-6165 E-mail: [info@nmcam.jp](mailto:info@nmcam.jp)**